

## 「子ども庁」創設に想いを馳せる

2021年4月19日

昨年の今頃は、コロナ禍も気温が上がる夏頃には収まるものと期待しておりましたが、その願いも虚しく、今や数えること第4波の感染拡大の危機に瀕しております。皆様におかれましても、日々感染防止に気を配りながらお過ごしのことと存じます。

さて、菅政権が「子ども庁」創設の検討に入ったと報道され、期待感を高めております。その課題解決の論点としては、待機児童ゼロ、少子化対策、児童虐待や子どもの貧困対策、不妊治療などが含まれるようで、来年の通常国会に法案提出が予定されているとの事です。

子どもは国の宝であり、少子化対策はもろ手を挙げて賛成です。待機児童ゼロも働く親御さんのため待ったなしの状況です。そして、児童虐待や子どもの貧困は深刻な問題であり、これが解決出来れば連鎖的に色々な事が良くなるように思えてなりません。

孫を見ておりますと好奇心の塊です。以前、孫に「キャンディパニックのボールはどうして上の方に揚がっていくの？」と聞かれ、説明に苦慮しました。幼児でも解る簡単な言葉を並べて説明するのは本当に難しいです。自分が親の時には、このような場面で根気よくお話が出来ませんでした。

超多忙な日々が続く、働けど働けど貧困から抜け出せない状況では、心のゆとりを無くしてしまい子どもに適切に接することが出来なくなる可能性も否めません。好奇心や思いやりの心を育む大切な幼少期に親御さんと社会全体で見守る仕組みが出来たらと「子ども庁」への期待が高まります。

先般、開発中の次機種で孫を遊ばせてみました。初めて見るゲーム機に最初は臆病になりながらもドキドキ感とぎこちない笑顔が交錯し、慣れてくると夢中でプレイし、仕舞いには予期せぬ遊び方へと発展させ得意げな顔をします。大人の常識とは異なる子どもの想像力や着眼点には、時々大いに驚かされます。

我々の仕事が、子どもたちの好奇心を育み想像力の芽を育てることに、ほんの少しでもお役に立つなら、これほど嬉しく光栄なことはありません。また、「子ども庁」のような政治による支援や社会全体でサポートしていく風土が根づけば、子どもたちがさらに輝きを増し、将来の日本を、そして世界を豊かに導いてくれる気がいたします。

弊社は今年で創業4年目に入りました。皆様のご支援を頂きながら、このコロナ禍でも、新製品の開発を継続しております。この場を借りて、皆様のご支援に心より御礼申し上げます。これからも会社設立時の想いを忘れることなく、皆様に喜んで頂ける製品をリリースしていく所存です。引き続き、ご支援ご鞭撻のほど、宜しく願い申し上げます。

会長 内藤 峰